

標茶音頭を幅広い年代に広めよう

文化理解ゼミ 標茶の活性化班

1. はじめに

私たちは標茶町をより良くしたいと考え、標茶町の課題を考えました。そこで、毎年学校祭で踊っている「標茶音頭」を教えてくれる標茶音頭保存会が、「メンバーが高齢化している」「標茶音頭を若い人に知ってもらい引き継いでもらいたい」と課題意識を持っていることを知り、学生の立場で何か手助けができないかと考えました。課題を解決するために、若者が標茶音頭を知り、広めるなど行動したいと思いました。

2. 活動目的・目標

標茶音頭保存会や標茶音頭の現状を自分たち自身で学び、標茶音頭を若者に知ってもらう

3. 活動内容

標茶高校の全校生徒に標茶音頭についてアンケートをとり、以下の結果になりました（表1）。

表1 標茶音頭の認知度調査

標茶音頭保存会を知っているか	標茶音頭を踊ることができるか
1年次	1年次
知っている・・・4	踊れる・・・0
知らない・・・57	踊れない・・・60
2年次	2年次
知っている・・・25	踊れる・・・37
知らない・・・26	踊れない・・・27
3年次	3年次
知っている・・・50	踊れる・・・53
知らない・・・17	踊れない・・・12

標茶出身の人さえも標茶音頭保存会の存在を知らない人がおり、標茶音頭を知っていても実際に踊ることができない人が多いことがわかりました。何年か前までは標茶小学校の運動会で標茶音頭を踊っていたはずなのに時が経つにつれて踊らなくなったのはなぜか疑問に思いました。また、標茶音頭保存会に入っている若者が年々減っていて、設立当初の人数は中学生を含む184人いたものの、現在では100人にも満たなくなっているとのことでした。そこで、私たちは標茶音頭の歴史を知るべく標茶町図書館から資料をいただきました。その結果、標茶町100周年に標茶音頭ができたことを知りました。

その後、私たち自身が標茶音頭について深く知るために標茶音頭保存会の方に来校していただき標茶音頭を教えてもらいました。その結果、1つひとつの振り付けを理解することができ、標茶音頭について理解を深めることができました（図2）。

10月には、本校を訪問した中学生に体験講座を開き、標茶音頭保存会の方々に教えてもらったことを私たちが中学生に対し教えました。何も知らない真っ白な状態から踊りや振り付けの意味を教えるのが難しく、思うようには進みませんでした。最後には中学生が笑顔で踊り、「楽しかった」と言ってくれ

たことがこれからの活動の励みになりました。

そこから、もっとたくさんの若者に知ってもらうために、私たちは保育園、幼稚園、小学校、中学校を対象に詳しく書かれた踊りの解説を載せた冊子や分かりやすいように動画を作成し冊子とともに配布することを考えました。



図2 標茶音頭の方に教えてもらっている様子

4. 成果と課題

アンケートにより、標茶高校生の標茶音頭についての現状が把握することができました。今年度は学校祭が中止になったため、今の1年生は音頭を踊ることができません。そこで、次年度は標茶音頭をできる人を集めて踊り、わからない人に教えて音頭を踊ることができるようにしてほしいです。標茶音頭保存会の方に来校していただき標茶音頭を教えてもらいましたが、改めて教えてもらうことで、1、2年生の時に教えてもらった時とは違う感覚で理解が深まりました。音頭を教えてもらう前に事前に図書館から資料をもらい標茶音頭の歴史について学びました。標茶音頭は、標茶開基100周年を記念としてできた音頭であり、最近までは標茶小学校の運動会で踊っていました。今回のゼミを通して昔の標茶のことを知る機会ができました。標茶音頭保存会の方のおかげで、標茶音頭の振り付け1つひとつに標茶をイメージした振り付けが入っていることを知ることができました。

5. まとめ・次年度へ向けて

標茶音頭保存会のメンバーの高齢化、年々若者が減っていることがわかりました。標茶高校生は学校祭で音頭を踊るので、標茶音頭の保存、伝承にこれからも貢献してほしいと思います。動画で保存をすることで未来にも音頭を残しやすくなると思います。今後は、動画を町民の方に見せられるようにすることで、小さいうちから見ることができ標茶町民の標茶音頭認識度が増えると思います。

6. 次年度に向けての展望

小学生に対して標茶音頭を教える機会を設け、町民の皆さまと一緒に音頭を踊る機会を設けたいです。

7. おわりに

私たちの活動のご協力いただいた皆様に心より感謝します。1年間の活動が少しでも後輩に良い影響を与えることができているのであれば幸いです。また、活動に協力してくださった標茶音頭保存会のみなさま、体験授業を受けてくれた桜が丘中学校のみなさん、ありがとうございました。